

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-181	13-015	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol mixed with energy drinks: are there associated negative consequences beyond hazardous drinking in college students? アルコールの栄養ドリンク割：大学生における危険な飲酒を超えた悪影響との関連があるか？		
執筆者		
Berger L, Fendrich M, Fuhrmann D.		
掲載誌		
Addict Behav. 2013 Sep;38(9):2428-32. doi: 10.1016/j.addbeh.2013.04.003.		
キーワード		PMID
アルコール、栄養ドリンク、大学生		23685329
要 旨		
目的：		
アルコールの栄養ドリンク割りは大学生の中で危険な飲酒か否かの保証がないままで流行している。この飲み方はアルコール関連の有害リスクに身をさらす。本研究ではアルコールの栄養ドリンク割りの使用、危険な飲酒、およびアルコール関連の有害事象との関連を大学生で検討した。		
方法：		
対象者は、2010年に行われた確率標本に基づいた18~25歳の606名の学部学生。アルコールの栄養ドリンク割りの摂取は、生涯および過去一年間の使用を含めた。危険な飲酒とアルコール関連の有害事象は過去一年間で評価された。アルコールの栄養ドリンク割り摂取の推定率が点有病率として用いられ、カイ二乗検定、分散分析、ロジスティック回帰分析がアルコールの栄養ドリンク割りの使用、危険な飲酒、およびアルコール関連の有害事象との関連を検討するために使われた。		
結果：		
生涯および過去一年間のアルコールの栄養ドリンク割りの使用率はそれぞれ75.2%、64.7%であった。アルコールの栄養ドリンク割りを使用した危険な飲酒は、過去一年間にアルコールの栄養ドリンク割りを使用していない危険な飲酒より、有意に避妊手段を取らない性交渉を持つ傾向があった（オッズ比：2.35、95%信頼区間：1.27-4.32）。		
結論：		
アルコールの栄養ドリンク割りの使用率は、大学生において明らかに高かった。そして、アルコールの栄養ドリンク割りの使用は危険な飲酒だけでなく、避妊手段を取らない性交渉のリスクを追加するかもしれない。避妊手段を取らない性交渉は公衆衛生上の意味を持ち、危険な飲酒およびアルコールの栄養ドリンク割りを摂取する学生は、多大なリスクにさらされているかもしれない。		